

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!



e-pile next

施工例・・・高層階・塔状建物

e-pile next工法が、これまでの鋼管杭工法の概念を変えました。

鋼管杭ならではの高い強度と、品質の均一性に加え、高い支持力性能(先端拡翼径φ1250mm)と、高い引抜き性能(2130kN)を保持する他、杭上部に大きな断面性能となる拡頭管(φ812.8mm)を用いたことで高い水平抵抗を発揮、従来の規模や計画等を上回るパフォーマンスを実現した鋼管杭基礎工法です。

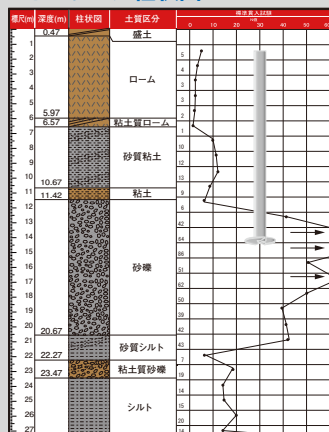
・S造12階

工事名	ホテル新築工事	杭 径	φ318.5mm
施工地	東京都豊島区東池袋	拡翼径	Dw 800mm
用途	ホテル	拡頭径	-
構造	鉄骨造(S)	深度	SGL-13.0m
建築面積	830.99㎡	支持力	1019kN
工期	2019年9月24日～2019年9月27日	本数	18本

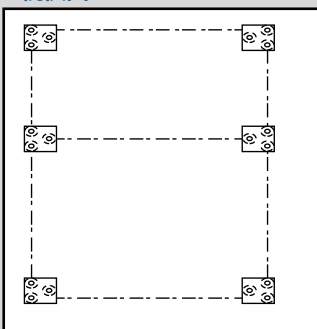
・RC造12階

工事名	某)マンション新築工事	杭 径	φ406.4mm
施工地	東京都多摩市一ノ宮	拡翼径	Dw 900mm・Dw 1000mm
用途	共同住宅	拡頭径	-
構造	鉄筋コンクリート造(RC)	深度	SGL-12.15m
建築面積	1189.04㎡	支持力	1650kN・1950kN
工期	2019年3月27日～2019年4月5日	本数	5本・32本

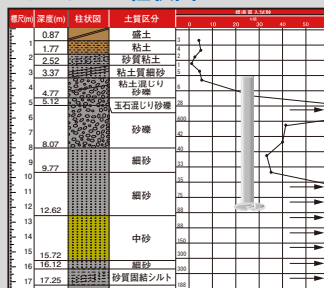
・ボーリング柱状図



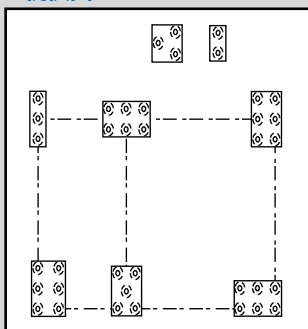
・杭伏図



・ボーリング柱状図



・杭伏図



その他、これまでの施工実績では、RC造10～13階建までの多数採用実績もございます。今後とも各種、比較の一社に加えさせていただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

☆e-pile next工法をご採用いただき、誠に有り難うございました。



e-pile next

国土交通省大臣認定工法



全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

国土交通大臣認定

TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む)

TACP-0484 粘土質地盤

日本環境協会

エコマーク認定 08 131022号

日本建築センター

BCJ評定-FD0540-01

BCJ評定-FD0541-01

BCJ評定-FD0542-01

基礎評定(引抜支持力)

砂質地盤

硬質地盤

粘土質地盤

■ 全ての鍵は杭先端にあり

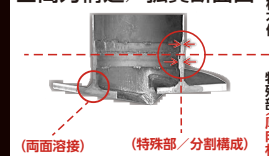
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

検索 e-pile

検索

■ 本社

〒252-0134
 神奈川県相模原市緑区下九沢1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店/ 経理室

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2
 朝日生命幡ヶ谷ビル6階
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター

〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37
 TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



新型コロナウイルス感染症について

2020年2月14日「新型コロナウイルス感染症について」の大臣会見概要を掲載いたします。

【大臣記者会見概要】令和2年2月14日(金)

新型コロナウイルス感染症は、我が国において、現在、流行が認められている状況ではありません。風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

湖北省または浙江省から帰国・入国される方あるいはこれらの方と接触された方におかれましては、咳や発熱等の症状がある場合には、マスクを着用するなどし、事前に保健所へ連絡したうえで、受診していただきますよう、御協力を願います。また、医療機関の受診にあつては、湖北省または浙江省の滞在歴があることまたは湖北省または浙江省に滞在歴がある方と接触したことを事前に申し出てください。

【新型コロナウイルスに関するQ&A】※令和2年2月13日時点版

【問1】新型コロナウイルスとはどのようなウイルスですか?
 発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、人に感染するものは6種類あることが分かっています。そのうちの2つは中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼吸器症候群(SARS)などの、中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼

吸器症候群(SARS)などの、重症化傾向のある疾患の原因ウイルスが含まれています。残り4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10~15%(流行期は35%)の占めです。

詳しくは、国立感染症研究所「コロナウイルスとは」をご覧ください。
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/9303-coronavirus.html>

【問2】新型コロナウイルスはヒトからヒトへうつりますか?
 ヒトからヒトへの感染は認められていますが、日本国内で、現在、流行が認められている状況ではありません。

風邪やインフルエンザと同様に、まずは、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえる「咳エチケット」や、石けんを使った手洗いなどの感染対策を行うことが重要です。

【問3】新型コロナウイルス感染症はどのように感染するのでしょうか?
 現時点では、飛沫感染(ひまつかんせん)と接触感染の2つが考えられます。

(1)飛沫感染
 感染者の飛沫(しゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※主な感染場所: 学校や劇場、満員電車などの人が多く集まる場所

(2)接触感染
 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他者がその物に触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染します。

※主な感染場所: 電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

【新型コロナウイルスを題材とした攻撃メールについて】

新型コロナウイルスを題材とした攻撃メールが出回っていますので御注意ください。攻撃メールは、件名、メールアドレス、本文等に、誤字や不自然な点がある場合が見られます。このようなメールを受信した場合は、メール本文中のURLをクリックする、添付ファイルを開く、または届いたメールに対して返信するなどの行為は行わないようにしてください。詳細は、情報処理推進機構(IPA)による注意喚起をご参照ください。

※厚生労働省及び検疫所から国民の皆様へメールすることはありません。また、自治体等を装った偽メールが出回っています。自治体のメールアドレスがどうか確認いただく、自治体の相談窓口を確認する等、十分ご注意ください。

※詳細は厚生労働省のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

新型コロナウイルス感染症対策



現在、中国などで新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっており、日本でも流行は認められておりませんが感染者が確認されている状況です。このことから新型コロナウイルスを含む感染症対策が重要になってきました。感染症対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」が重要です。改めて、各方法についてご紹介させていただきます。

【手洗い】

まず始めに...

- 爪を短く切っておく
- 時計や指輪は外しておく



流水でよく手をぬらした後、石鹸をつけ手のひらをよくこする



手の甲をのぼすようにこする



指先・爪の先を念入りにこする



指の間を洗う



親指と手のひらをねじり洗います



手首も忘れずに洗う

石鹸で洗い終わったら、十分に水で流し清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします

【咳エチケット】

- マスクを着用する(口・鼻を覆う)
- マスクが無い場合はティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- とっさの時は袖で口・鼻を覆う

NG

- 何もせずに咳やくしゃみをする
- 咳やくしゃみを手でおさえる

感染症対策をして、自分を守りましょう!



【正しいマスクの着用】

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間が無いよう鼻まで覆う

詳細につきましては厚生労働省のHPをご覧ください▶



経理マンが行く

野味

さてさて、大変な年明けとなってしまいましたね。新型コロナウイルスの蔓延でオリンピックが開催されるのか、中止になるのかという物議まで持ち上がり、日本の景気も下降に向かっていきます。日本の景気も不安ですが、今後のコロナウイルスもどのように沈静化するのか、心配です。

そもそも中国武漢での食生活が原因で発症したと言われていますが、武漢ではどのようなものが食されていたのでしょうか。元々、武漢市のほか上海市や江蘇省無錫市、安徽省合肥市、河南省などではタケネズミやアナグマなどの野生動物を食用として売られていたようです。これらの市場では重症急性呼吸器症候群(SARS)が2002年~2003年にかけて流行して以来、これらの食材を生きたまま売ることが禁止されていたのですが、昨年五月に再開されたばかりでした。広東省や貴州省など中国南部では珍しい野生動物を食べる「野味」という習慣があるそうです。主に感染源として疑われている、竹を主食とするタケネズミもその一つ。SARSの感染を媒介したとされたハクビシンも食用として売られていましたが、現実問題、野生動物の売買取り締まりは難しいようです。中国の短文投稿サイト「微博」上には武漢市にある海鮮市場の野生動物の価格表とみられる写真が出回り、生きたタケネズミは一匹あたり八十五元(約1,360円)で、処理してあるものに比べて価格は五倍以上もするので、貧困地区では収入を上げるために養殖する人まで出てきているのが現状です。もう一つの感染源に挙げられている「コウモリ」ですが、中国だけが食用としているわけではなく、ラオスやカンボジア、フィリピン、パラオやアフリカでもコウモリを食べる習慣があります。ではなぜ、他の国でも食べられているのに、今回の新型コロナウイルスやSARSは中国から発生したのでしょうか。これは売っている状況、すなわち市場の状態があまり清潔に保たれてはいないという事が原因のようです。他の国は野生動物を狩猟して、鮮度の高いまま食事が多いのですが、中国は市場に集められ劣悪な環境で保管され、様々な野生動物が隣接、もしくは一緒くたになって売られているからです。武漢では海鮮市場が感染源と言われていましたので、魚?とも思いましたが、武漢の海鮮市場でも野生動物は売られていました。その種類は様々でロバ、ハリネズミ、うさぎ、犬、キツネ、オオサンショウウオ、孔雀、カンガルー、コアラ、ワニ、オオカミ等々、その種類はなんと112種類。加工されているものと、生きたまま売っているものが混在して売られている状況で、日本で例えるなら糞と羽根が舞う鳩小屋の横で生鮮売り場が同じ場所にあり、売っているという事です。中国では「椅子以外の4本足」のものはなんでも食べるという言葉があるくらい、色々なものを珍味として食べます。中国政府はこの新型肺炎を受け、SARSの時同様、野生動物の販売を禁止するなどの措置を取っていますが、時間が経ち、また同じ過ちを繰り返しているという事になります。

野生動物を「食べる」、「食べない」ではなく、根本的な市場のルールや環境整備などに力をいれなければ、また同じ問題を起こすことになるという事に気づいてほしいですね。

